

鉄素地※上の塗装、ライニングなどの絶縁性皮膜やメッキなど 非磁性金属皮膜の膜厚の非破壊測定に。

※鋼・フェライト系ステンレスを含む

用途

Use

塗装

橋梁・船舶・鋼管・自動車などの鉄鋼構造物、家電製品[冷蔵庫、洗濯機など]、スチール家具、機器類など

橋梁

鋼管

家電製品

自動車

船舶

メッキ

クローム・亜鉛・銅・スズなどの非磁性メッキ
(電解ニッケルメッキを除く)

ライニング

樹脂・タールエポキシ・ゴム・ホーローなど

メタリコン・
パーライジング・
酸化膜・溶射膜 など

特長
Features



日本語キーでカンタン操作

わかりやすい日本語キーによる操作と、旧2000IIIより見やすくなった18字×5行の大型LCD画面。LCD表示部は、暗い場所での測定に威力を発揮するバックライト付です。



20,000点の大容量メモリ

メモリ機能により、測定・記録作業が1人でOK。検査作業の省力化とコストダウンが図れます。1日に数千点もの多点測定を行う橋梁などの膜厚検査でも、メモリ残量を気にすることなくどんどんメモリ測定できる余裕の20,000点です。
(旧2000IIIは10,000点)



検量線登録数10本

鉄素地の材質・形状・厚みなどによって変化する検量線(素地特性カーブ)を10種まで登録可能。ワンタッチで呼び出せるため同素地の場合、測定のたびに調整する必要がありません。ゼロ・フルスケール修正機能により登録済検量線の簡易校正も可能です。



ブロック名登録

20,000点のメモリは最大20のブロックに分割でき、20のブロックにはそれぞれ英数10文字までの名前を付けて登録できます。



RS-232C出力

メモリした大量の測定データは、内蔵のRS-232CインターフェイスによりPCへのデータ送信が可能※
※データ送信にはパソコン側で端末エミュレータープログラムが必要です。



プリンタ内蔵で統計機能

メモリした大量のデータをCTR-2000V本体で統計計算処理しプリンタに出力します。測定値のリスト出力だけでなく、統計計算結果(測定値の合計点数・平均値・最大値・最小値・標準偏差)も出力できます。また、ペンとメモを持たずに測定値の記録ができるプリンタ内蔵のメリットを、省力化・コストダウンに活かします。



上下限設定機能、アラーム機能

測定膜厚の基準を上下限值(いずれか一方でも可)で設定して合否を判定、アラーム音と過不足値の表示で知らせます。過不足値表示機能を利用して、厚さが既知の絶縁板上のフィルムや皮膜厚の直接表示が可能です。



0~2000μmレンジ

0から2000μmレンジで、塗装からライニングまで幅広く対応。特に橋梁など長大鉄鋼構造物の防食塗装の測定に威力を発揮。また、200μmまでは0.1μmステップの表示も可能です。



新しい1点定圧プローブ

プローブは従来のものからSWTシリーズで採用されている特殊磁極を使用しました。耐摩耗性が向上し、さらに安定した測定が可能です。